

小型ポンプ中継送水注意点

宇部市消防団西部方面隊

- ☆放水口は常を開けておく。送水していない場合でも半開。(閉口時に高圧力を受けた場合は放口弁が損傷する)
- ☆通水後、エンジンを始動する (アイドリング)。
- ☆予備送水は目で確認できる位置まで行い、いつでも停水できる態勢を確保する。
- ☆真空ポンプレバーは操作しない(水の流動で、真空になる)
- ☆送水は元ポンプから、停止・撤収も元ポンプから
- ☆元ポンプからの送水が落ち着いたら、徐々にスロットルを上げる。
- ☆連成ゲージを 0.05MPa(～0.1MPa)に保つよう、スロットルを調整する。
- ☆送水圧力は 0.5mpa(5 気圧)位とする。落差、等で想定していたより低い圧力で先ポンプに届いたとしても自動車ポンプ程、高圧にしない。=エンジンが破損する)
- ☆高圧水を放水レバーの開閉で調整しない(と先ポンプにその衝撃が伝わり先ポンプが破損する。)
- ☆ポンプが振動で移動しないように注意する。=ポンプを固定しまた、ポンプから離れない